

TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動状況

令和2年7月16日 8:00時点

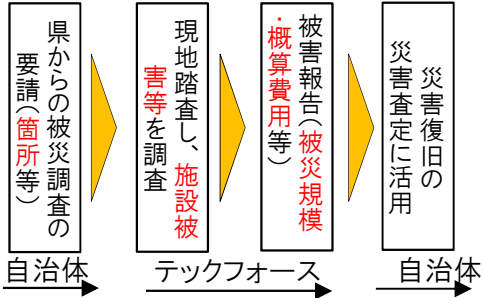
- 九州地方整備局を中心として全国の地方整備局等のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日326人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。
降雨時の排水に備え、排水ポンプ車57台(うち九州54台)を現地へ配備。
- 熊本県の要請に応じ、球磨村周辺を中心に、施設被害状況等を調査し、県の行う被害額算定や査定設計書作成等を支援。

・派遣人数
のべ3,773人・日
・災害対策用機械
のべ1,271台・日

■熊本県内の被災状況調査の実施状況

2市6町5村の調査要請に応じ、のべ1,921人の隊員を現地へ投入し、現地踏査等を実施。7月15日までに河川・道路・砂防の689件の施設被害等の調査を完了。

■TEC-FORCEによる被災状況調査の流れ ■被害報告件数(7/16)



内容	河川	砂防	道路	合計
被害件数	131	33	525	689

自治体から被災調査の要請



7月9日 相良村からの調査要請 (熊本県相良村)

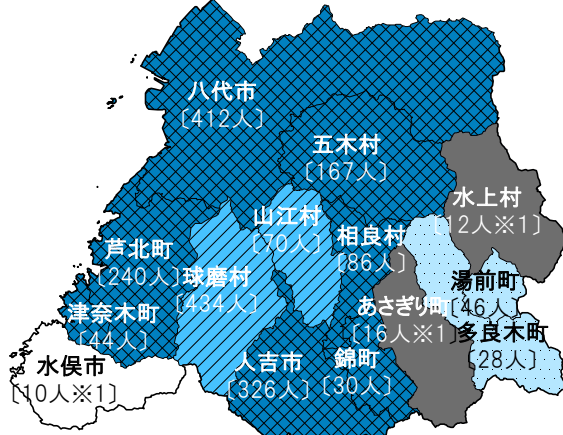
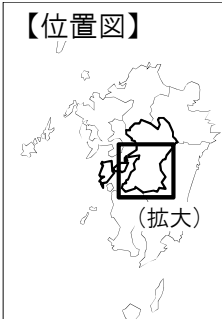
公共土木施設の被災状況調査



7月13日 護岸が被災した河川の現地調査 (熊本県錦町)

■TEC-FORCEの現地派遣人数と進捗率

【位置図】



自治体からの要請に基づく実施割合。

<凡例>	
調査進捗8割以上	(濃い斜線)
調査進捗5割~8割	(薄い斜線)
調査進捗5割以下	(点線)
調査完了	(黒)
リエゾンのみ	(白)

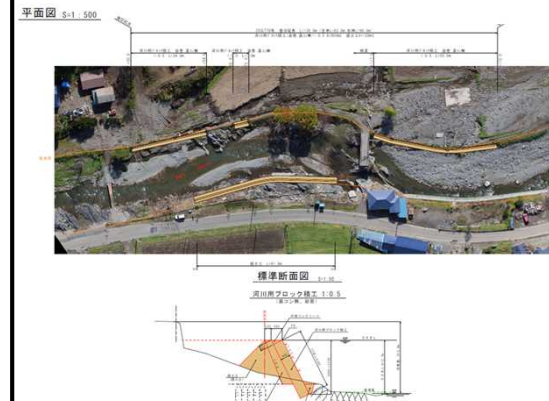
(7/16時点)

要請箇所内の被害報告



7月13日 調査結果を村長へ報告 (熊本県五木村)

災害査定に活用



河川災の設計図書の事例

・〔 〕は、リエゾン及び被災状況調査班として派遣した人数(のべ人・日)。
・「※1」はリエゾンのみを派遣。
・これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。